

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 22 No 12

257号

平成26年12月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

検査してもらってきて!

院長

またまた変な題名で、恐らくは何のことか分からないでしょう。

今年はインフルエンザ流行の立ち上がりが高く、大きな流行も予想されています。当院の周辺では少ないのですが、仙台市内では学級閉鎖の学校もでてきているようです。

「検査してもらってきて!」とは、いったいどんな意味なのでしょう。インフルエンザに限らず、集団生活で感染性の病気が流行すると、先生から“病院に行って検査してもらってきてください”と言われることが多々あります。お母さん方は、“保育園から検査してもらってと言われたので受診しました”と来院します。

なぜ、これがテーマになるのでしょうか。理由は二つあります。ひとつは病院は検査の場ではなくて、診断する場なのです。診断のために検査を必要とするかどうか判断するのも医師の役割です。極端な例えですが、胃の具合が悪い患者さんに、初診で胃カメラの検査をすることはまずないでしょう。症状を詳しく聞き、診察をして、投薬で経過をみて、必要ならば検査するというのが普通の対応です。インフルエンザも例に挙げてみましょう。インフルエンザは集団カゼといわれていた時代があり、次々に広がっていくことから名前がついたのです。家族や集団生活の中でインフルエンザが複数以上いて、1～2日で高熱が出ればインフルエンザと診断すれば90%の確率で当たるのです。にもかかわらず検査をする意味がどこにあるのでしょうか。そして厄介なのは、検査の限界です。検査キットにも限界があり、最近では感度と精度も上がっているのですが、発熱から時間が経っていないとインフルエンザでも陰性になります。臨床診断でインフルエンザの確率が90%あるのに、検査の時期によっては診断率が半分以下になるということも珍しくはありません。

ふたつ目は検査には苦痛をとまなうことです。必要である検査であれば、苦痛を我慢するしかありません。しかしながら検査をしないで診断できるものを、わざわざ鼻に綿棒を突っ込んで子どもに痛い思いをさせる必要はないのです。その判断を親がするのはまだしも、保育園で言われたという理由では子どもがかわいそうです。保育園で子どもが痛い思いをさせられたら、親

御さんはきっと保育園に怒鳴り込んでいくに違いありません。もちろん親の不安や心配だけで、子どもの検査を行うことも問題です。検査は誰のためのものではなく、子どものために行うという意識を持ってください。検査による苦痛は、その先の大きな問題を解消するために止むを得ず行うものなのです。

誰のために行うのかということを書きましたが、ここのところ少し誤解があるので触れておきます。インフルエンザの場合は、診断と治療が結びつきます。ところが診断と治療が結びつかない検査もあることは皆さんも知っていることでしょう。気管支炎を引き起こすRSウイルス、嘔吐下痢の原因となるノロウイルス・ロタウイルス、これらは診断と治療が結びつきません。検査をして陽性になったとしても、抗ウイルス薬などの直接的な治療法はなく、もっぱら対症療法になります。治療法と結びつかないのであれば、子どもたちのためではないということになります。

さて話は変わりますが、検査に関しては医師側にも責任があることも確かです。医師の役割としては、検査の必要性を判断することが重要であることを前に書きました。しかしながら、医師がすべて同じ考えで対応しているとは限りません。お母さんたちから話を聞いたのですが、熱で受診すると症状に関係なく何種類の検査をされてしまうところがあります。お母さんたちの中には、いっぱい検査をしてくれるのはありがたいと思っている人もいますでしょう。でもこの検査は誰のためにしているのかを考えたことがありますか。溶連菌検査でのどを擦られ、泣きさわいでいるうちに鼻に綿棒を突っ込まれる子どもはどうでしょうか。ほとんどの子どもたちは、鳴き声の奥に“お母さん助けて”と叫んでいるのかもしれない。溶連菌とインフルエンザは症状や診察から区別ができなければ医師とは言えません。検査を多くすれば保険点数が上がります。うがった考えかたをすれば、複数の検査はお金のためと勘ぐられても仕方ありません。当院では家族の一人がインフルエンザと確定され、1～2日の潜伏期で高熱が出ればインフルエンザと診断して治療を始めます。一人が痛い思いをして、検査料を負担するのは、自分のためだけでなく他の家族のためです。家族全員検査する医療機関もありますが、そこにはどんな意味があるのでしょうか。

ちょっと横道の愚痴のようになってなりましたが、「検査してもらってきて!」の意味と誰のための検査なのかを考えてみましょう。そして検査する医師としない医師どちらが子どもの味方なのかを見極めることが必要かもしれません。



栄養育児相談

4日、24日(水) 13:30～

栄養士担当 参加無料

・年末年始休暇

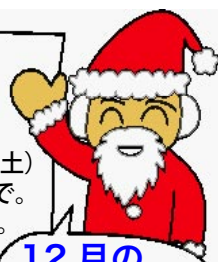
12月30日(火)～1月3日(土)

但し、12月29日は16:00まで。

ご理解とご協力をお願いします。

・休日当番

1月4日(日)は在宅休日当番



12月の
お知らせ

3.11で東日本大震災から3年 “震災を忘れない!”
『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』 復興支援をこれからも!

読者の広場

先月は11通のメールをいただきました。載せたいものもたくさんあったのですが、プライバシーに配慮し断念しました。元かかりつけの患者さんでメールでの相談に乗っていたのですが、福島から新幹線で受診した母親からの感謝のメールもありました。



まずはちょっと遠くの富谷町からの恥ずかしいが理由の匿名さんから。「昨日は、予防接種、お世話様でした。久しぶりにクリニックに伺い、先生から「久しぶりだなあ」と言われたのも、かかりつけの先生だからこそ言葉と、嬉しく思いました。お陰様で、年齢と共に、少しずつ体も丈夫になり、クリニックに伺う回数も少なくなってきたなあと思います。予防接種の時にもお話させていただきましたが、今年2月に天〇と一緒に彩〇もインフルエンザに、かかってしまいました…。天〇は、すぐに川村先生に診ていただいたのですが、2日後に発熱した彩〇は近くの内科に行きました。内科で、下の子がインフルエンザと伝えても、熱が出始めたばかりだからと、インフルエンザの薬は処方されませんでした。こんな時、先生は確か「家族でインフルエンザが出ているなら、臨床診断」という言葉だったか定かたないのですが、もう、薬も出すから」と、状態をみて、薬を処方して頂いたなあと思ったのでした。「あーちゃんも、川村先生のとこに行けば良かったのに」と天〇から言われる始末でした。それに対し「そんなことはわかってるのー！川村先生、一番好きだけど、でも、もう、恥ずかしいの。天〇には、わからないと思うけど、女子だから、恥ずかしくなるの！」と返していた彩〇です。。(笑)今回、先生や看護師さんたちから聞いた話を早速、伝えたとこ「え?!お母さんになっても、川村先生のとこに行ってるの?!」とかなり、びっくりしていました。「えー。。。でも、やっぱり、恥ずかしい～。えー。。。えー。。。」と、考えていました。川村先生には、ホントに、彩〇が一歳の頃からお世話になっていて、私も「かかりつけ医」ということの素晴らしさ、嬉しさ(母の)、安心(これも、母の)を感じています。クリニックに伺うと、赤ちゃんを連れてお母さんが「今日、初めて来ました」という言葉を聞くときがあり、それが聞こえるたびに「ここから、川村先生との付き合いが始まっていくのねえ」と勝手にしみじみしています(笑)天〇も、まだまだお世話になります!!彩〇は、恥ずかしさ先行なので、もしかしたら、伺えないかもかもしれませんが、気持ちは「川村先生のとこが一番!!」ということはお伝えさせて頂きたいなと思えました。いつも、クリニックに伺ったときは、先生はもちろん、看護師さん、スタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱい、帰ってくるのですが、そのたびにメールをするのも。。。と黙って(笑)今回は、久しぶりに伺い、嬉しかったのと(予防接種に行っ、嬉しいというも、おかしですが...)彩〇の気持ちも伝えさせて頂きたく、メールをさせて頂きました。また、来月、予防接種でお世話になります。よろしくお願致します。偶然一面記事の内容と同じことが書かれています。間違いなく“臨床診断”、さすがかかりつけ(^-^)/彩〇にいつでもおいでと伝えてください。

続いては秋田県に転居した浅野さんから。本当はこのメールの前に医療機関の対応に関して愚痴のようなメールをもらいましたが、そこはプライバシー。返事の一部だけ許可をもらって載せることができました。「(略)最後にふたつほど。1.クリニックニュース11月号、読者の広場を拝見し、涙がでてきました。理由はいろいろありますが、苦労してお母さん、お子さんの話、お母さんがすごく後悔していることが伝わってきました。クリニックでのやりとりが目に見えるようで。。。私も小さいことで後悔していることが多いので、そのお母さんの気持ち、心はわりきりさうだったので、と苦しくなりました。そして、いろいろ先生に相談して薬に合ったこと、花輪の入院の際のご対応や、花みちの点滴。。。いろいろなこと思い出しました。これからのいい方向にそのお母さん、お子さんが進んでいけることを心より願っています。(実はたかまつ薬局さんでの待ち時間、クリニックニュースの冊子を見るのが楽しみでした。これから先号もずっと楽しみにしています、遊び心あふれる一面のお話も元気になります、大好きです)2.イルミネーションの動画をお子さんと拝見、すごく喜んでいました。花輪は先生がいない～～と探していました(^^)クリスマス会に参加できないのがさみしい限りですが、こちらよりWEBアップを楽しみにしております。お時間いただきありがとうございます。本当に忙しい時期、先生、スタッフの皆様、どうぞお元気で過ごしてください。」。転居してもCLINIC NEWSを読んでくれているようです。記事に挙げたのは、こんな連鎖を期待しているからです。火傷したお子さんのお母さんも、このメールを読んできっと載せて良かったと納得していることでしょう。実は記事掲載後全て載せていいという許可をもらいました。いずれ機会があれば紹介します。本当にありがとうございました。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog**「子どもクリニック四方山話」、**Facebook ページ**、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter

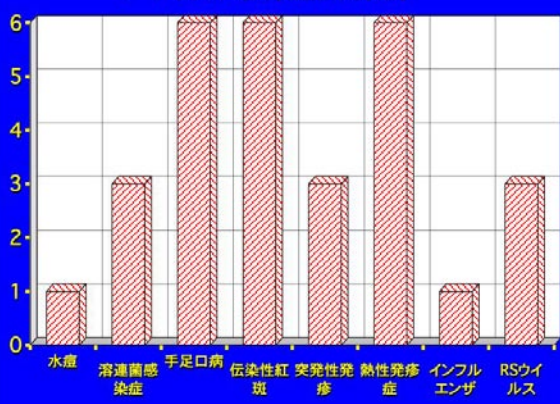


Facebook



Blog

11月の感染症の集計



もう冬だというのに、手足口病、伝染性紅斑がみられています。この季節にこれだけみられるのは以上としか言いようがありません。あちこちからインフルエンザ流行の声が聞こえてきますが、当院の周辺ではまだまだです。RSウイルス感染症はかなり多い印象です。例年通り、MailNews, Facebook でインフルエンザ情報を発信予定です。

編集後記

あっという間に一年が終わってしまいました。今年は医師会理事就任、来年は日本外来小児科学会年次集会と、激動の年になりそうです。忙しさ自慢をいつも載せているのですが、頼られるうちが華です。声もかけられなければ、きっと淋しくなるでしょう。皆さんには迷惑をかけないようにします。ちょっと早いですが、よいお年を!



K's clinic

麻しん風しんぜ口作戦キャンペーン 『1才のお誕生日にMRワクチンを!!』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。